

東京民医連

東北地方太平洋沖地震 支援ニュース

2011年3月14日

No.10 10:30

発行：東京民医連事務局

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：

soumu@tokyominiren.gr.jp

宮城県民医連 坂総合病院「電気通じた」

現地の吉田氏（東京民医連）から連絡が入りました（14日 AM6 時頃）

「今朝、電気が通じた。携帯も通じるようになった。病院内の片づけはまだ手がついていない。地域の避難所まわりをやっており人手は必要。支援部隊は大部屋に雑魚寝。寝袋が必要。カセットコンロは第一陣が持参したもののみでお湯が沸かせない状態。飲み水がない。病院の水は地下水をくみ上げているので大丈夫。米は農民連から10t入ることになっているようだが米を持ってきてほしい」



医療支援 坂総合病院にむけて東京民医連から本日出発！

東京民医連事務局は本日、譜久村事務局次長、滝沢医師部副部長が坂総合病院にむけて出発します。「現地の奮闘している仲間たちと一緒にがんばってきます」と滝澤氏が決意表明。その他の病院でも動きだしています。

大田病院支援は15日朝の出発に向けて秋山医師を含め4人が準備中です。王子生協病院は所轄の警察で緊急車両申請を行い許可ができました。東京健生病院も支援に向けて検討に入りました。

計画停電への対応に全力！

首都圏域での計画停電対応が始まっています。とくにみさと健和、東葛病院、みさと協立、立川、大泉などでは計画停電が実施される地域に入ったため大変な状況となっています。

大泉生協病院（練馬）は13日未明に緊急会議を開き14日の外来休止を決定。

勤医会メンタルクリニックみさとでは多くの患者さんが使っている薬局が、停電となる15時で営業を中止する旨の連絡がありました。ほとんどの患者さんが自立支援制度のため薬局を自由に選択することができないため三郷市障害福祉課に当面の処置として登録外の薬局での処方をお願いできないか要請中です。勤医会たんぼぼ訪問看護ステーション（流山）では在宅酸素療法を行っている患者6名について業者に連絡したが「どうにもならないので、そちらで対策を」ということで奔走中。

健文下赤塚診が第3グループに該当。練馬も訪看STの春日町が該当するため、現在、在宅レスピと酸素の患者確認に入っています。

西都保健生協では在宅酸素の利用者については各自治体に非常用バッテリーの貸し出しの申請などの手伝い・対応を始めています。また、一部出勤困難な職員については、事業所を超えて圏域内での協力体制をつくらうとしています。

計画停電がない区内でも職員が出勤できず苦慮しています。代々木病院では朝会で意思統一を行い、個別リハ訓練休止、精神科デイケア中止、外来は薬を中心に対応などを確認しました。大田病院でも医師体制の変更を行いながら通常の診療体制を維持することに奮闘中です。

行政への要望事項を東京民医連に集中してください。